

所属 人間情報学部		職名 教授	氏名 牧 勝弘	学位 博士（理学）	兼担している研究科 心理医療科学研究科
研究分野 人間情報学およびその関連分野、神経科学およびその関連分野			研究分野のキーワード 音響学、知能情報処理、認知脳科学		
学歴					
1995年03月	法政大学工学部電気工学科計測制御専攻 卒業				
1997年03月	北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科情報処理学専攻博士前期課程 修了				
2000年03月	東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻博士後期課程 修了				
職歴					
2000年04月	同志社大学工学部 ポスト・ドクター				
2002年04月	日本電信電話株式会社 NTT コミュニケーション科学基礎研究所 人間情報研究部 リサーチ・アソシエイト，リサーチ・スペシャリスト				
2010年04月	独立行政法人情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所超臨場感映像研究室 専攻研究員				
2011年10月	愛知淑徳大学 人間情報学部 准教授				
2017年04月	愛知淑徳大学 人間情報学部 教授				
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
学術論文					
Psychological evaluation of a 42-channel spherical loudspeaker in a low-reverberant environment	共著	2022年03月	Acoustical Science and Technology 43 2	Maki, K. and Yamada, K.	113頁～116頁
Characterizing violin top plate using sounds generated by local taps, "	共著	2022年03月	Acoustical Science and Technology 43 2	Maki, K., Aiba, E. and Obata S.	87頁～95頁
Acoustic features of pop-out voice in babble noise	共著	2022年03月	Acoustical Science and Technology 43 2	Amano, S., Kawahara, H., Banno, H., Maki, K., and Yamakawa, K.	105頁～112頁
Audible sound under compressed snow simulating avalanche debris	共著	2022年05月	Acoustical Science and Technology 43 3	Maki, K. Sakakibara, K., Yamakawa, K. and Amano, S.	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
ホールで響く音の源泉 ―楽器と歌唱の放射特性を通して音の広がりを見つめ直す―	単著	2026年04月	日本音響学会 日本音響学会誌 82 4		215頁～220頁
Perceptual and acoustic characteristics of pop-out voice	共著	2026年06月	Acoustical Society of America The Journal of the Acoustical Society of America 159 5	Keiichi Tajima,Shigeaki Amano, Mafuyu Kitahara, Kiyoko Yoneyama, Katuhiro Maki, Hideki Kawahara, Mariko Kondo, and Kimiko Yamakawa	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
Frequency-resolved acoustic correlates of perceived clarity in Japanese dysarthric speech	共著	2026年06月	The Acoustical Society of Japan Acoustical Science and Technology DOI: https://doi.org/10.1250/ast.e26.23	Kohei Ikegami, Takako Iwaki and Katuhiro Maki	e26.23頁
学会発表					
片頭痛患者及び健常者における快音源聴取時の心理的变化の比較	共同発表	2022年03月	第17回日本感性工学会春季大会(オンライン開催)		
音声の聴取実験に適した密閉型ヘッドホンの周波数特性	共同発表	2022年03月	日本音響学会春季研究発表会講演論文集(オンライン開催)		
バブルノイズ環境下におけるポップアウトボイスの周波数スペクトルパターン	共同発表	2022年09月	第148回日本音響学会秋季研究発表会(北海道科学大学)		
音声情報伝達の確実性向上のためのポップアウトボイスの特徴解明	共同発表	2022年09月	第148回日本音響学会秋季研究発表会(北海道科学大学)		

拡張音声モーフィングによるポップアウト属性の検証可能性	共同発表	2022年09月	第148回日本音響学会秋季研究発表会(北海道科学大学)
主観評価実験に使用する音声資料の長時間平均スペクトルの等化方法について	共同発表	2023年06月	日本音響学会音声コミュニケーション研究会(オンライン)
楽器とスピーカの音色～感性評価～(招待講演)	単独発表	2023年10月	感性材料の評価用AIの開発に関する研究会(ウイנקあいち 科学技術交流財団研究交流センター)
脳卒中後dysarthria 患者の発話明瞭度評価と発話明瞭度との関係性	共同発表	2023年11月	日本音響学会聴覚研究会(大学コンソーシアム富山)
名器と名演奏家の音の特徴と感動を生む脳(招待講演)	単独発表	2023年12月	日本色彩学会美的感性研究会・日本色彩学会東海支部共催講演会(名城大学)
発声の3次元空間放射特性	共同発表	2024年01月	聴覚研究会・音声コミュニケーション研究会共催研究会(筑波大学 春日地区)
42ch球状マイクロホンアレイを用いた発話の空間放射特性の計測	共同発表	2024年03月	第151回日本音響学会春季研究発表会(拓殖大学)
音響特性に基づく音声のポップアウトの程度の推定	共同発表	2024年03月	第151回日本音響学会春季研究発表会(拓殖大学)
多様な測定信号を用いた音声の収録および聴取環境の測定例について	共同発表	2024年03月	第151回日本音響学会春季研究発表会(拓殖大学)
能楽師とオペラ歌手による歌唱の空間放射特性	共同発表	2024年03月	第151回日本音響学会春季研究発表会(拓殖大学)
Comparison of psychological changes from listening to pleasant sounds in patients with migraine and control patients	共同発表	2024年03月	The 10th International Symposium on Affective Science and Engineering (ISASE)(Online / Kyushu University)
聴覚モデルを用いた雑音中の音声検出課題のシミュレーションについて	共同発表	2024年09月	日本音響学会音声コミュニケーション研究会(オンライン開催)
登半島地震におけるアナウンサー避難指示音声の音響特徴	共同発表	2024年09月	第152回日本音響学会秋季研究発表会(関西大学)
glimpse model を用いた雑音中のポップアウトボイスの検出	共同発表	2024年09月	日本音響学会秋季研究発表会(関西大学)
聴覚実験に使用する音刺激の音圧レベル測定法と表記法 - スピーカ呈示とヘッドホン呈示で埋まらない溝 - (招待講演)	単独発表	2024年11月	日本音響学会聴覚研究会(ウエルネスハウス SARAI (石川県))
片頭痛患者における快音源の音圧レベル及び種類に関する基礎的検討	共同発表	2025年02月	感性工房・感性情報処理部会6大学合同研究発表会(中央大学後楽園キャンパス)
発声・歌唱の研究におけるオープンイヤー型ヘッドフォンの可能性について	共同発表	2025年03月	第142回音楽情報科学研究発表会(九州大学大橋キャンパス)
オープンイヤー型ヘッドフォンを用いた音声生成実験系の構成と評価について	共同発表	2025年03月	音声コミュニケーション研究会(オンライン)
Dysarthria患者の発話明瞭度を反映する音響成分	共同発表	2025年06月	第26回日本言語聴覚学会(やまぎん県民ホール山形テルサ)
演奏支援に向けたバイオリン空間放射特性の可視化法	共同発表	2025年09月	第154回日本音響学会秋季研究発表会(東北工業大学八木山キャンパス)
快音源の音圧レベル変化による片頭痛患者と健常者の快不快評価への影響と差異の検討	共同発表	2025年09月	第27回日本感性工学会大会(タワーホール船堀(東京都江戸川区))
片頭痛患者における快音源の評価と心理状態変化の関係性の検討	共同発表	2025年12月	感性工学関連6大学合同研究発表会(中央大学後楽園キャンパス)
Spatial acoustic directivity as indicator of bowing technique in	共同発表	2025年12月	Sixth Joint Meeting Acoustical Society of

violin performance			America and Acoustical Society of Japan(Hilton Hawaiian Village Waikiki Beach Resort Honolulu)		
Effect of Sound Pressure Level of Pleasant Sounds on Pleasant-Unpleasant Ratings	共同発表	2026年03月	The 12th International Symposium on Affective Science and Engineering (ISASE)(Online Symposium)		
作品・制作等					
その他業績					
空間で捉える至高のバイオリン「ストラディバリウス」の音	単独	2023年05月	教育芸術新聞「リサーチ万華鏡」，第2923号（2023年05月10日発行）	牧 勝弘	-
学会等における主な活動					
受賞					
1997年03月	優秀修了者表彰, 北陸先端科学技術大学院大学			優秀修了者表彰は、優れた修了者を表彰することにより、修了者の努力を賛えるとともに、在学生の修学意欲の高揚を図ることを目的として制定されており、学位記授与式の際に学長から表彰状と記念品が贈られます。	
2004年03月	第21回栗谷潔学術奨励賞, 日本音響学会			栗屋 潔学術奨励賞は、栗屋潔博士 (本学会第9代会長) のご遺族からの寄付を基に昭和58年に創設された賞で、音響に関する学問,技術の奨励のため、有為と認められる新進の研究・技術者に贈呈されます。	
2006年03月	第46回佐藤論文賞, 日本音響学会			佐藤論文賞は、佐藤孝二博士 (本学会第4代会長) からの寄付を基に昭和36年に創設された賞で、音響学に関し学術上及び技術上貢献するところが大きい研究業績を本学会誌に発表した正会員又は学生会員に贈呈されます。	
2007年09月	第18回ポスター賞, 日本音響学会				
2009年04月	研究開発賞，N T T コミュニケーション科学基礎研究所				
2011年03月	第51回佐藤論文賞, 日本音響学会			佐藤論文賞は、佐藤孝二博士 (本学会第4代会長) からの寄付を基に昭和36年に創設された賞で、音響学に関し学術上及び技術上貢献するところが大きい研究業績を本学会誌に発表した正会員又は学生会員に贈呈されます。	
所属学会					
1995年04月 ～ 現在	日本人工知能学会			1995年04月 ～ 現在	会員
1996年04月 ～ 現在	日本音響学会			1996年04月 ～ 現在	会員
				2000年04月 ～ 現在	日本音響学会
				春季・秋季研究発表大会 聴覚セッション副座長・座長	
				2003年04月 ～ 現在	日本音響学会 編集委員会 査読委員
				2011年04月 ～ 2014年03月	聴覚研究委員会幹事
				2014年04月 ～ 2018年03月	東海支部庶務幹事（2014年3月まで）
					，会計幹事（2015年4月から）
2000年04月 ～ 現在	日本神経科学学会			2000年04月 ～ 現在	会員
2003年04月 ～ 現在	Association for Research in Otolaryngology			2003年04月 ～ 現在	会員
2004年04月 ～ 現在	The Acoustical Society of America			2004年04月 ～ 現在	会員
2017年04月 ～ 現在	日本音響学会			2017年04月 ～ 現在	日本音響学会誌 & Acoustical Science and Technology 編集委員
社会活動					
教育活動					
教育実践上の主な業績			年 月 日	概 要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)					
授業における視覚表現の強化			2012年04月 ～ 現在	授業では、イラスト、図表現を積極的にスライドに盛り込み、できる限り容易に内容を理解できるように努めた。	
アンケートによる授業内容のフィードバック			2012年04月 ～ 現在	授業内容に関するアンケートを毎回行い、授業内容の理解度を常に把握し、授業スピードや説明の難易度の調整を行った。また、理解できていなかった、あるいはより詳しく知りたい部分については授	

授業関連資料の配布		2012年04月～現在	業で再解説し、授業内容をより深く理解できるように努めた。 授業で使用したスライドのイラストや図をアカデミックポータルで配信し、授業の内容理解に役立つように配慮した。
2 作成した教科書、教材、参考書			
「基礎ゼミ」テキスト		2014年04月～現在	初年度教育科目である基礎ゼミで使用するテキストを分担で執筆した。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動上特記すべき事項			
高等学校模擬授業（名古屋市立北高等学校）		2021年06月04日	心理学についての模擬授業を行った。
オープンキャンパス模擬授業		2021年07月24日	オープンキャンパスにて「感性とインタラクティブコンテンツデザイン」についての模擬授業を行った（須藤信先生と共同）
高等学校模擬授業（一宮北高等学校）		2021年11月08日	心理学についての模擬授業を行った。
高等学校模擬授業（小牧高等学校）		2021年11月10日	心理学についての模擬授業を行った。
高等学校模擬授業（碧南高等学校）		2022年07月07日	心理学についての模擬授業を行った。
高等学校模擬授業（杏和高等学校）		2023年04月17日	「情報」についての模擬授業を行った。
高等学校模擬授業（名古屋西高等学校）		2024年12月12日	「情報」についての模擬授業を行った。
高等学校講義（聖カピタニオ高等学校）		2025年05月29日	「スマホ安全教室」と題する講義を行った。
高等学校教員向け講習会（聖カピタニオ高等学校）		2026年03月04日	高等学校教員向けに「生成AIの仕組みと活用法」について講習会を行った。
高等学校講義（聖カピタニオ高等学校）		2026年05月28日	「スマホ安全教室」と題する講義を行った。
5 大学運営			
倫理委員会（人間情報学部）		2015年04月～現在	
入試実施委員長（人間情報学部）		2017年04月～2022年03月	
学部運営委員会委員（人間情報学部）		2017年04月～現在	
学部予算・施設設備運用管理委員会委員（人間情報学部）		2020年04月～2022年03月	
人間情報学部長		2022年04月～2024年04月	
AI・データサイエンス教育センター センター長		2024年04月～現在	
Ⅴ 資格・免許、特許等			
資格・免許			
特許等			
2008年05月29日	末梢神経型柔軟神経電極およびその作製方法		
2008年05月29日	刺入型柔軟神経電極およびその作製方法		
2008年05月29日	細胞外マイクロ電極及びその製造方法		
2008年05月29日	脳表電極及びその製造方法，使用方法		